

2027
学校パンフレット補足資料



法政大学第二中・高等学校

中学校の学習について

1. 法政二中の特徴的な取り組み

○ 高い学力と知識の獲得

中・高6年間を通じて、高い学力の完全習得を目指します。

☆1・2年次は1クラス30名以下の少人数学級でよりきめ細かい指導を展開

- 週6日34時間のカリキュラム
- 分割授業（英語・数学）
- チームティーチング（理科実験）
- 定着試験の時間（中1～3英語、中2・3数学）
- 補習

○ グローバル社会を生き抜く力

グローバル社会に巣立つ生徒に豊かな体験を提供し、幅広い教養を獲得させます。

(1) 思考力・判断力・表現力の育成

受験勉強にとらわれない豊かな体験学習や調査研究活動を通じた、深い洞察力の養成、既成概念に捉われない自由な発想の育成

- さまざまな調査研究活動
 - ▶ 日常的に各教科で独自の学習プログラムを実施
 - ▶ レポートやプレゼンテーション
 - ▶ 毎週1回、理科実験を実施(中1～3)

(2) 社会の諸課題を的確に捉える力の育成

卒業後に活躍するための社会認識と自らの力で考える力を養成します。

- ICTの活用
- 図書館を活用した学び「資料の集め方、調べ方、まとめ方の習得など」
- 集団討論による課題解決
- 総合の時間（中1・中3）

(3) 世界で活躍するための基礎教養としての英語力の強化

- 確かな英語力の育成
 - ▶ 英語分割授業(中1～3)
 - ▶ 外国人講師による英会話の授業

(4) 自分とは異なる考え方を認め、他者と協働していく姿勢の育成

- 国際交流プログラム
 - ▶ ニュージーランド研修（希望制）
 - ▶ ニュージーランドの姉妹校オレワカレッジの生徒、教員との交流
 - ▶ 長期・短期留学生の受け入れと交流
 - ▶ 生徒がつくる国際交流委員会の活動

- 豊かな人間性の形成
 - 「付属校ならではの」の豊かな体験を通じての人間形成
 - 活発な自主活動
 - ▶ クラス活動
 - ▶ 生徒会活動
 - ▶ 部活動
 - 豊かな体験学習
 - ▶ 校外授業（中1）
 - ▶ 林間学校（中2）
 - ▶ 「総合」宿泊行事 広島研修（中3）
 - ▶ スキー教室（中1～中3）
 - ▶ 盛大な体育祭・文化祭（文化祭は中高で同日開催）

2. 教育課程

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技術家庭	英語	定着	総合	道徳	H R	合計
1年	5	3	5	3	2	2	3	2	5	1	1	1	1	34
2年	4	4	5	4	1	1	3	2	6	2		1	1	34
3年	4	4	4	4	1	1	4	1	6	2	1	1	1	34
合計	13	11	14	11	4	4	10	5	17	5	2	3	3	102

- 週6日制34時間のカリキュラムです。
- 「定着」とは英語・数学の学力定着を1週間単位で確認する時間です。1年生は英語、2・3年生は英語・数学を行います。

■中学校各教科の特徴

国語 【自ら学ぶ力、言葉、表現を学ぶ】

自ら学んでいく力をつけるために、自分の言葉を磨き育てること。また自学自習の「方法」を学ぶことに力を注ぎます。そのために自己表現(作文など)や級友との共有(相互批評)の活動を活発に取り入れています。

社会 【自ら調べ、考え、表現する力を習得する】

社会では、1年生で「地理」、2年生で「歴史」、3年生で「公民」を学びます。深めた学習内容を踏まえたオリジナル教材を、教科書と併用しています。また、各学年で、調査とレポート作成に取り組んでいます。

数学 【「数学が好き」という生徒を育てる】

分割授業でよりきめ細やかな指導を心がけ、確実に基礎学力を身につけさせるとともに、「考える力」を育成することを目標にしています。また作図や立体模型の製作を通して幾何的な思考力の育成にも力を入れています。

理科 【実験・実習から自然の本質を知る】

理科では、自然の事物・事象に直接ふれることを通じた学びを特に重視しています。直接体験を通じ、興味・関心を深めることで、自然を科学的に理解するための基本的な知識を楽しみながら身につけ、より豊かに自然を探求する能力を育成します。実験・実習は毎週2時間連続で行い、教員が2人体制できめ細やかな指導を行っています。3年間でおおよそ70回以上実施し、毎回「実験ノート」の作成に取り組めます。1年生では、2種類の顕微鏡(生物顕微鏡と双眼実体顕微鏡を1人1台ずつ利用できます)の使い方から組みはじめます。

英語 【総合的な英語力の基礎を身につける】

「読む」「書く」「聞く」「話す」ことをバランスよく定着させることを目標としています。特に音声面に関わる学習では外国人講師による分割授業をはじめとした特徴的な取り組みを展開しています。

音楽 【豊かな表現力を獲得する】

1年生で学習した歌唱、器楽、音楽理論も含めた基礎的な内容をベースに、2・3年生はさらにこれを発展させた実技中心の授業を行っています。ソロ、グループ、クラス全体と形態を変えた演奏を曲に合わせて行います。

美術 【発想力と表現力、美術の楽しさを知る】

美術では「作る」「見る」「感じる」を基本として「楽しくわかりやすい美術授業」をします。授業では絵画・デザイン・建築・工芸など広い分野について様々な素材・道具を使って学習します。

保健体育 【心技体のバランスを整える】

心身共に大きく発育・発達する中学時代に、心技体をバランス良く成長させることを目標としています。生涯にわたって運動に親しむ心と体を養い、近年問題となっている中学生の体力低下、運動不足に対応すべく基礎体力の向上を目指した授業を展開しています。

技術・家庭 【生活と関連づける】

技術では、工具を使用した「ものづくり」やPCを活用した実習などを通して、技術と日常生活の関わりについて学びます。家庭では生活面の自立を目指して、生活の仕組みや社会との関わりを学んでいきます。

3. 少人数制授業・チームティーチング授業について

英語と数学の授業の一部において、全学年少人数制授業（1クラスを二分割）を行っています。英語は外国人講師による英会話の授業を実施しています。

また、理科の実験・実習ではきめ細かい実験指導と安全のために教員が2人で受け持つチームティーチングの授業を展開しています。毎週1回必ず実験があり、考察を実験ノートにまとめ提出します。

4. ICT を活用した教育環境

全生徒、保護者に Google アカウントを発行し、授業や学校生活のさまざまな場面で Google Workspace を積極的に活用しています。2025年度より1人1台タブレット端末を導入し、各教科の授業をはじめ行事やクラブ活動などで活用することで、主体的かつ共同的な学びを一層進めています。同時に、デジタル機器をよりよく使っていくために、デジタル・シティズンシップ教育に取り組んでいます。

5. 2026年度 教科書・副教材一覧（中学校）

○使用教科書一覧

教科	発行会社	書名
国語	光村図書	国語 1, 2, 3
		中学書写 一・二・三年
社会	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
	帝国書院	中学校社会科地図
	学び舎	ともに学ぶ人間の歴史
	教育出版	中学社会 公民 ともに生きる
数学	数研出版	改訂版 これからの数学 1, 2, 3
理科	東京書籍	新編 新しい科学 1, 2, 3
音楽	教育芸術社	中学生の音楽 1, 2・3 上, 2・3 下
	教育芸術社	中学生の器楽
美術	開隆堂	美術 1, 2・3
保健体育	大修館	最新 中学保健体育
技術	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
家庭	開隆堂	技術・家庭 家庭分野 自立とともに支え合う生活へ
英語	三省堂	NEW CROWN English Series 1, 2, 3
道徳	光村図書	中学道徳 1, 2, 3 きみが いちばん ひかるとき

○副教材一覧

教科	発行会社	書名
国語	浜島書店	問題中心の新文法ノート
	浜島書店	級別漢字レッスン
	浜島書店	国語便覧 神奈川版
社会	東京法令出版	ニュースタイルビジュアル地理 I・II 別冊『白地図作業帳』付
	浜島書店	神奈川県版 中学歴史資料集「学び考える歴史」
	浜島書店	新しい公民（神奈川県版）
数学	数研出版	改訂版 6ヶ年教育をサポートする体系数学 1 代数編
	数研出版	改訂版 体系問題集 数学 1 代数編 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 正の数と負の数/式の計算 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 方程式 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 不等式 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 1次関数 [発展]
	数研出版	改訂版 6ヶ年教育をサポートする体系数学 1 幾何編
	数研出版	改訂版 体系問題集 数学 1 幾何編 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 平面図形/空間図形 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 図形の性質と合同 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 三角形と四角形 [発展]
	数研出版	改訂版 6ヶ年教育をサポートする体系数学 2 代数編
	数研出版	改訂版 体系問題集 数学 2 代数編 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 式の計算/平方根 [発展]
	数研出版	改訂版 6ヶ年教育をサポートする体系数学 2 幾何編
	数研出版	改訂版 体系問題集 数学 2 幾何編 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 図形と相似/線分の比と計量 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 2次方程式/関数 $y=ax^2$ [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート データの活用/確率と標本調査 [発展]
	数研出版	改訂版 完成ノート 円 [発展]
数研出版	改訂版 完成ノート 三平方の定理 [発展]	
数研出版	新課程 [数学入門] 高数への準備演習	
理科	浜島書店	最新 理科便覧
	増進堂・受験研究社	中学 詳説用語&資料集 理科
	文理	中学校実力練成テキスト 中学理科 1年
	文理	中学校実力練成テキスト 中学理科 2年
美術	秀学社	美術資料 神奈川の美術
	大修館	最新中学校保健体育ノート①
保健体育	大修館	最新中学校保健体育ノート②
	大修館	最新中学校保健体育ノート③
技術	実教出版	パーフェクトガイド情報 Office2021 対応
英語	教育開発出版	新中学問題集 英語 1年標準編
	三省堂	ペンマンシップ+フォニックス (Penmanship + Phonics)
	教育開発出版	新中学問題集 英語 2年標準編
	教育開発出版	新中学問題集 英語 3年標準編

※その他、実験実習などに必要な教材についてはその都度購入しています。

中学校の生活について

1. クラス数（2026年度）

	中 学
1年	8 クラス
2年	8 クラス
3年	6 クラス

2026年度 時間割(平日)

SHR	8:30～ 8:40
1 時限目	8:50～ 9:40
2 時限目	9:50～10:40
3 時限目	10:50～11:40
4 時限目	11:50～12:40
5 時限目	13:25～14:15
6 時限目	14:25～15:15

2026年度 時間割(土曜)

1 時限目	8:30～ 9:20
2 時限目	9:30～10:20
3 時限目	10:30～11:20
4 時限目	11:30～12:20

※高校では、他中学出身生徒と混合クラスになります。

※1クラスの人数：中学1・2年 30名以下、中学3年 38名程度

2. 規律について

中学においては「規律の確立」「他者を認め尊重すること」を基本としており、同時に中学生としての「社会的マナー」について指導します。

また生徒会を中心とした自主的な活動を指導・援助しています。

3. 部活動について

週3～5日活動を行っています。入部は任意ですが、現在では約90%の生徒が部活動に参加しています。いわゆる「選手養成」「勝利や成績だけを目的」とした部活動ではありません。だれでも参加することができ、部活動では友人と共に研究・制作や練習を築き上げていく過程を大切にしています。

各部の部員数(2025年度3学期)が19ページにあります。

4. 相談室について

「ほっとすルームKIDuki」という名称で、校内に相談室を備えています。臨床心理士・公認心理師3名が対応しています。生徒の悩みやお子様のことなどいろいろなご相談をお受けしています。悩みや不安など、自らの心の状態に気づき、向き合う力とともに、相談できる力を育む環境を整えています。月～土が開室日となっています(2026年度)。

5. 通学について

通学の距離制限は特に設けていません。中学生として通学可能な範囲であれば問題ありません。

東急東横線・目黒線、JR南武線、JR横須賀線・総武線・湘南新宿ラインに加え、東京メトロ南北線・副都心線、埼玉高速鉄道線、都営地下鉄三田線、西武池袋線、東武東上線、みなとみらい線、東急新横浜線、相鉄線が各線への乗り入れによって武蔵小杉駅まで直通運転を実施していますので、広い範囲から通学が可能です。

自転車通学は許可制となります。本校から半径5km圏内でかつ保険に加入していることが条件となります。

2026 年度入試 入学者の分布

神奈川県	横浜市	32.2%
	川崎市	21.7%
	その他県内	5.6%
東京都	23区内	37.0%
	都下	2.2%
千葉県		0.4%
埼玉県		0.4%
その他		0.4%

2026 年度入試 総入学者数に占める割合
※構成比を四捨五入しているため、合計が100%になっていません。

進路について

法政二高への進学

法政二中から法政二高への進学は、学校が定める成績基準に達していれば、生活上の問題がない限り、全員が進学できます。毎年、ほぼ全員の生徒が必要な基準に到達しています。

他の私立高校を受験する場合は、法政二高への進学の権利を失います。国公立高校受験を希望する場合は、審議を経て、法政二高への進学の権利を保持したまま、受験することができます。

中学入試について

1. 2027年度 生徒募集 (概要)

※2027年度(現小6)募集の詳細については9月以降に配布される要項をご覧ください。

ホームページにおきましても随時入試情報を掲載していく予定です。

	日程
帰国生	2027年 1月 10日(日)
第1回	2027年 2月 2日(火)
第2回	2027年 2月 4日(木)

帰国生入試科目 2教科 [国語 ・ 算数] + 面接
一般入試科目 4教科 [理科 ・ 社会 ・ 国語 ・ 算数]

■ 帰国生入試について【2027年度入試(現小6)の基準】※予定

資格：保護者の海外在留にともなう海外在留期間が1年以上で、帰国が2024年3月以降である受験生

※上記資格は2026年4月段階での予定です。2027年度入試の帰国生受験資格は9月配布の入試要項でご確認ください。

- 試験は国語・算数 各50分 各100点
- 可否は試験の結果と面接試験を総合的に判断します。
- 受験に際して、提出して頂く書類の中に在籍小学校から本校に提出して頂くものはありませんが、保護者の方の勤務先発行の海外在留証明書とご家庭で記入の帰国生調査票の提出が必要となります(本校HPよりダウンロードし作成)。
- インターネットによる合格発表を予定しています。
- 面接は保護者同伴となります。

■ 一般入試について※予定

- 国語・算数は各50分 各100点 理科・社会は各40分 各75点
- 可否は4教科の『合計点』で判断します。各教科の基準点はありません。
- 受験に際して、提出して頂く書類の中に在籍小学校から本校に提出して頂くものはありません。
- インターネットによる合格発表を予定しています。
- 面接は行いません。

2. 2026年度中学入試(現中1) 結果

	2026年度					
	男子			女子		
	帰国	第1回	第2回	帰国	第1回	第2回
志願者	21	467	355	32	413	314
受験者	17	380	286	28	304	246
合格者	11	122	60	19	102	52
実質倍率	1.5倍	3.1倍	4.8倍	1.5倍	3.0倍	4.7倍
合格者最低点	非公表	240点	224点	非公表	238点	216点

その他

1. 受験から入学とその後に要する費用の概算（2026年度・参考）

- 入学検定料（帰国生、1回、2回それぞれ）30,000円、入学手続き金 350,000円
（入学金 300,000円、入学時教育充実費 50,000円）
- 学費（授業料・教育充実費(年額)・実験実習料)、預り金（校外授業費等）中学1年生で（前期・後期で分納）1,064,200円
- 〔その他購入するもの〕

制服・シャツ等	44,550～46,090円
体操着・体育館シューズ等	25,030～27,230円
美術道具・実験ノート等	10,000円程度
副教材費・参考書等	15,000円程度

※制服については、制服上下、シャツ/ブラウス、ネクタイ/リボンの概算です。
個人によりポロシャツ、セーター、コートなどが加わる場合があります。
- 上記とは別にタブレット端末（iPad(A16)）の購入費用として、およそ120,000円（保守保証費、通信費等を含む）が必要となり、前期に学費等と一緒に徴収いたします。ご購入後、高校卒業までの6年間、同一端末を使用いたします。2027年度の詳細は別途、決定次第、ご案内させていただきます。

2. 宿泊行事費用（2026年度・参考）

- 中学3年生の「総合」研修旅費
145,000円（中学1年～3年の積立合計）
- 中学2年生の林間学校費
59,000円
- 中学1年生～3年生のスキー教室費（毎年実施）
215,000円（3年間合計）
※本費用は、預り金として徴収額に含まれています。

3. 行事予定

二中文化祭（2026年度）

- 10月24日(土)
- 10月25日(日)

中学校説明会（2026年度 予定）

- | | | |
|-------|-----------|---------------------|
| 帰国生対象 | 8月22日(土) | 10:00～(予定) |
| | | ※「入学試験要項」の配布はありません。 |
| 学校公開 | 9月26日(土) | |
| 第1回 | 9月12日(土) | 14:30～ |
| 第2回 | 10月3日(土) | 10:00～ |
| 第3回 | 10月31日(土) | 14:30～ |
| 第4回 | 11月21日(土) | 14:30～ |

会場 本校 本月ホール

※詳細はホームページでご確認ください。

※ ホームページ上での予約が必要です。

※ 申込方法の詳細は7月～8月に学校ホームページへ掲載予定です。

※ 自動車・自転車での来校はご遠慮ください。

※ 最新の説明会情報および予約関連事項等はホームページでご確認ください。

※ その他外部イベントでの説明会・個別相談会も実施する予定です。

詳細はホームページでお知らせします。

4. 奨学金制度について

■ 育友会奨学金制度

入学後、家庭の経済事情の変化にともない修学が困難になった生徒については所定の基準で選考し、授業料の補助を行っています。補助費は月額15,000円です。返済の義務はありません。

高校の学習について

1. 法政二高の特徴的な取り組み

○ 全教科にわたる幅広い教養・基礎学力の習得

高校3年間を通じて、さまざまな進路の可能性を広げていきます。

- 週6日34時間のカリキュラム
- 英語分割授業（高1・高2・高3）
- 英語・数学基礎講座（高1・高2）
- 高3必修選択授業

○ グローバル社会に巣立つ生徒に豊かな体験を提供し、発展させる。

(1) 調べる・討論する・発表する力

自ら表現する力は大学での学問研究や実社会で真価を発揮するだけでなく、国際社会で起こる様々な課題を解決していく力となります。

- 様々な調査研究活動
 - ▶ 日常の各教科の独自の学習プログラム
 - ▶ 3年3学期に行う取り組み
 - ▶ ICTの活用

(2) 世界で活躍するための基礎教養としての英語力の強化

- 高い英語力の育成
 - ▶ TOEIC Bridge®の活用
 - ▶ 英語分割授業
 - ▶ 外国人講師による授業

(3) 自分とは異なる考え方を認め、他者と協働していく姿勢の育成

- 国際交流プログラム（P20参照）
 - ▶ ニュージーランド短期研修（希望者）
 - ▶ マレーシア英語研修（希望者）
 - ▶ ニュージーランドの姉妹校への留学（高校・選抜制）
 - ▶ 長期・短期留学生の受け入れと交流
 - ▶ 長期海外留学制度
 - ▶ 生徒がつくる国際交流委員会の活動

○ 豊かな人間性の形成

「付属校ならでは」の豊かな体験を通じての人間形成

- 活発な自主活動
 - ▶ クラス活動
 - ▶ 生徒会活動
 - ▶ 部活動
- 豊かな体験学習
 - ▶ 新入生合宿（高1）
 - ▶ 沖縄修学旅行（高2）
 - ▶ 盛大な体育祭・二高祭（文化祭は中高で同日開催）

2. 教育課程（高校）

	国語	地歴	公民	数学	理科	音楽	美術	保体	情報	家庭	英語	選択	総合HR	合計
1年	5	2	2	4	5	(2)	(2)	4	2		6		2	34
2年	4	2	2	6	4	(2)	(2)	4		2	6		2	34
3年(文)	5	6	2	4	2			3			6	4	2	34
3年(理)	5	2	2	7	5			3			6	2	2	34
合計(文)	14	10	6	14	11	(4)	(4)	11	2	2	18	4	6	102
合計(理)	14	6	6	17	14	(4)	(4)	11	2	2	18	2	6	102

- 3年理系クラスの理科は物理・化学・生物・地学から1科目選択
- 1・2年の芸術は音楽Ⅰ・Ⅱ，または美術Ⅰ・Ⅱから選択

大学受験にとらわれない本校では、全教科を大切にし、それぞれの教科の核心部分をしっかりとつかみます。全教科を大切にするのは、高校でのすべての「学び」は深いところで互いに結びついており、この「結びつき」こそ真の高い学力の土台になるからです。

さまざまな「学び」に出会うなかで、自分の興味・関心にあった分野を見つけることができ、このようにして「学ぶことの意味」をつかみとったときに学力は大きく伸びます。

高校の学習活動は、事実を正確に把握し、自分の意見や考え方を形成して、それを表現する力が求められます。

■各教科の特徴

国語 【主体的かつ論理的な思考力を養う】

3年間で様々な作品を読み合う中で「論理的な読解力」と「自他を取り巻く諸問題についての課題意識」を深め、「主体的で論理的な思考力」の養成を目指しています。その手立てとして「書く学習」を位置づけています。

社会 【覚える社会科から考える社会科へ】

高校では、中学校までの学習を基礎に、大学へもつながる発展的な学力の形成を目指して、授業が展開されています。そして、1年「地理総合」「公共」、2年「歴史総合」「政治経済」、3年「世界史探究」「倫理」「日本史探究（文系のみ）」の通常授業と平行して、各学年の自主学習課題に取り組んでいます。

1年では、学習内容を踏まえた論述レポート、夏休みの班での現地調査活動を踏まえた発表、そして個人でのまとめレポートの作成をおこないます。2年では、歴史上の重要課題や出来事についての個人での文献調査レポートおよびそれに基づく班での調査・発表をおこないます。3年では、「正解」のない哲学・倫理学上の難問について班討論を踏まえて個人でのレポート作成や、日本史上の諸問題のなかで各自が疑問に思ったことを調査してまとめる研究レポートなどがあります。

数学 【数学を積極的に活用する力を養う】

数学の授業は1年・2年次に基礎教養として位置づけられている「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」を学び、3年次からは志望進路ごとに分かれて学習します。具体的には文系学部を志望する生徒は「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」の演習を通して更なる定着を図ります。また「数学B」も取り組みます。理系学部を志望する生徒は「数学Ⅲ」「数学B」を中心に学習することになります。理系の生徒はさらに選択科目の「数学C」が必修となります。

理科 【自然や社会に対する洞察力をつける】

理科では、理系・文系に限らず、自然科学全般を学ぶことで、「自然や社会に対する洞察力」を身につけ、ものの見方・考え方を養います。生きていく中で全ての対象を科学的な目で見てほしいと考えています。

英語 【総合的な英語力を習得する】

「読む」「書く」「聞く」「話す」という4技能を総合的にバランスよく伸ばすことをねらいとした全体授業のほか、それら全ての土台となる文法・語彙の確実な定着をはかる分割授業、英語による自己表現力を追求する外国人講師による分割授業を取り入れています。

保健体育 【正しいスポーツ観・健康観を実践で養う】

大筋群・呼吸器系・神経系の発達を目指して授業を展開しています。個人スポーツでは個々の課題克服、集団スポーツでは他者との協調やリーダーシップを学びます。そこで獲得した能力が実生活に反映できるような指導を心がけています。

美術 【表現する力と享受する力の育成】

絵画およびデザイン分野を扱います。制作を中心とした授業を通して、自分の思いを豊かに表現できる力の育成を目指すとともに、他者の表現を受け取る力の獲得も大切な目標としています。

音楽 【Let's Play Music】

実技では歌唱・器楽を中心に自己表現力の向上を目指し、理論では「音譜を読む・書く」という観点から、作曲法や和音の学習まで進めていきます。更に音楽史の学習や鑑賞なども行い、音楽を幅広く実践的に学んでいきます。

家庭 【生活の身近な題材から社会と自分を考える】

私たちの生活を出発点にして学習する家庭科では、身近な疑問から課題や問題を見つけ、様々な角度から物事を考えます。自分の意見をしっかり持ち、相手の気持ちを考え、社会を見つめられるようにします。

情報 【客観的な認識能力と情報発信能力を培う】

情報化社会に関わるテーマを中心に学び、多様な情報の行き交う現代社会の中で、事実を客観的に認識する力を培うとともに、自ら考えを積極的に表現できる、責任ある情報発信者としての基礎的な力を身につけます。

3. 高3 選択授業について

この授業は、共通必修科目で学習してきた内容をさらに深化・発展させるとともに、卒業後の進路との関わりも重視したものです。多種多様な講座の中から、生徒自らの興味・関心に応じて、より広く深く学習できます。各教員が専門性を活かした講座を開く大学のゼミのような授業です。本校では第3学年において共通必修科目とは別に、文系の生徒は選択科目から2科目、理系の生徒は1科目を選んで学習することになっています。

4. 高校3年3学期に行う取り組みについて

法政大学への推薦決定後、3年生はこれまでの学習で身につけた、調べる・討論する・発表する力を土台にした取り組みを行います。生徒一人ひとりが課題を設定し、調査や学外でのフィールドワークの内容について討論・考察を行い、導き出した結論をプレゼンテーションや論文などの形式で発表することが中心となります。調べる・討論する・発表する力を具体的な形で示すとともに、進学することへの意識を高め、大学進学後の学びを準備するための期間として、高校3年3学期の時期を位置づけています。

5. 理系クラス・文系クラスについて

3年生では1・2年生の学習を土台として、自分の興味・関心をいっそう深めるために、各自の希望にもとづいて、理系・文系にクラス分けを行います。

■ 理系クラスについて

理系の学部に進学を希望する生徒のクラスです。全教科を大切にするという基本を引き継ぎつつ、法政大学進学的基础となる国語・英語の教科に加え、自然科学関係の科目を一層深く学んでいくこととなります。

■ 文系クラスについて

文系の学部に進学を希望する生徒のクラスです。全教科を大切にするという基本を引き継ぎつつ、法政大学進学的基础となる国語・英語・数学の教科に加え、社会科学関係の科目を一層深く学んでいくこととなります。

6. ICTを活用した教育環境

全生徒、保護者に Google アカウントを発行し、授業や学校生活のさまざまな場面で Google Workspace を積極的に活用しています。2025年度より1人1台タブレット端末を導入し、各教科の授業をはじめ行事やクラブ活動などで活用することで、主体的かつ共同的な学びを一層進めています。同時に、デジタル機器をよりよく使っていくために、デジタル・シティズンシップ教育に取り組んでいます。

7. 2026年度 教科書・副教材一覧（高校）

○使用教科書一覧

教科	発行会社	書名	学年
国語	筑摩書房	ちくま現代の国語	1
	筑摩書房	ちくま言語文化	1
	筑摩書房	文学国語	2・3
	筑摩書房	古典探究 古文編	2・3
	筑摩書房	古典探究 漢文編	2・3
社会	帝国書院	高等学校 新地理総合	1
	帝国書院	標準高等地図	1
	実教出版	詳述公共 新訂版	1
	東京書籍	歴史総合	2
	実教出版	詳述 政治・経済	2
	東京書籍	日本史探究	3
	東京書籍	世界史探究	3
	実教出版	詳述 倫理	3
	数学	数研出版	数学Ⅰ
数研出版		数学Ⅱ	1
数研出版		数学A	1
数研出版		数学B	2
数研出版		数学Ⅲ	3
数研出版		数学C	3
理科	数研出版	改訂版 高等学校 生物基礎	1
	実教出版	地学基礎 新訂版	1
	実教出版	化学基礎 academia 新訂版	2
	第一学習社	高等学校 物理基礎	2
	啓林館	高等学校 科学と人間生活 改訂版	3
	啓林館	高等学校 物理	3
	実教出版	化学 academia	3
	啓林館	高等学校 生物	3
	啓林館	高等学校 地学	3
保健体育	大修館	現代高等保健体育	1
芸術（音楽）	光村図書	美術1	1
	光村図書	美術2	2
芸術（美術）	大修館	音楽Ⅰ Tutti+	1
	大修館	音楽Ⅱ Tutti+	2
家庭科	開隆堂	家庭基礎 明日の生活を築く	2
外国語（英語）	情報	実教出版 高校情報Ⅰ 新訂版	1
	三省堂	CROWN English Communication I New Edition	1
	増進堂	FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ	2
	増進堂	FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ	3

○副教材一覧

教科	発行会社	書名	学年
国語	いわずな書店	ほんものの力がつく現代語練習帳ことのは 三訂版	1
	第一学習社	改訂三版 古文解釈のための総合力を養う完全マスター古典文法	1
	第一学習社	改訂版 新訂総合国語便覧	1
	第一学習社	新版 完全マスター 古典文法 準拠ノート 基礎固め	1
	浜島書店	総合国語へのアプローチ	1
社会	実教出版	2026 ズームアップ公共資料	1
	実教出版	2026 ズームアップ政治・経済	2
	浜島書店	時代と地域の羅針盤 アカデミア世界史	2・3
	帝国書院	図説日本史通覧	3
	浜島書店	最新図説倫理	3
数学	数研出版	新課程 教科書傍用クリアー 数学Ⅰ+A	1
	数研出版	新課程 教科書傍用 クリアー数学Ⅱ+B	1
	数研出版	改訂版 項目別学習ノート 関数、極限 ～数学Ⅱからの発展学習～	2
	数研出版	項目別学習ノート ベクトル	3
	数研出版	新課程 教科書傍用 クリアー 数学Ⅲ+C	3
	数研出版	新課程 大学入学共通テスト対策／基本と演習 数学Ⅰ・A+Ⅱ・B 標準演習 PLAN100	3
理科	浜島書店	三訂版 ニューステージ 生物図表	1
	数研出版	新課程 フォトサイエンス地学図録	1
	実教出版	サイエンスビュー 化学総合資料 新訂版	2
	第一学習社	セミナー物理基礎+物理	3
	第一学習社	セミナー化学基礎+化学	3
	東京書籍	ニューグローバル 生物基礎+生物	3
保健体育	大修館	図説現代高等保健 改訂版	1
芸術（音楽）	教育芸術社	高校生のための音楽研究ノート 三訂版	1
家庭科	実教出版	生活学 Navi2026 デジタル版	2
情報	実教出版	2026 事例でわかる情報モラル&セキュリティ 30 テーマ	1
	研究社	〈改訂版〉大学生のための 論文・レポートの論理的な書き方	1
外国語（英語）	啓林館	ビジョククエスト 新高校英語入門	1
	啓林館	Vision Quest 総合英語 Ultimate 3rd Edition (新版)	1
	啓林館	Vision Quest 論理と表現 Alpha I Advanced	1
	啓林館	Vision Quest 論理・表現 I Advanced Workbook	1
	啓林館	Vision Quest 論理と表現 Alpha II	3
	啓林館	Vision Quest 論理・表現 II Hope ワークブック	3

高校の生活について

1. クラス数（2026年度）

	高 校
1年	14 クラス
2年	14 クラス
3年	15 クラス

2026年度 時間割(平日)		2026年度 時間割(土曜)	
1 時限目	8:40～ 9:30	1 時限目	8:30～ 9:20
2 時限目	9:50～10:40	2 時限目	9:30～10:20
3 時限目	10:50～11:40	3 時限目	10:30～11:20
4 時限目	11:50～12:40	4 時限目	11:30～12:20
5 時限目	13:25～14:15		
6 時限目	14:25～15:15		

※高校では、付属中学出身生徒と混合クラスになります。

※高校1クラス 45名程度

※現在、授業開始時間は学年ごとに時差を設けています（平日のみ）。2限からは全学年共通。上記の時間割は高1となります。1限は高1：8:40～9:30
高2：8:45～9:35 高3：8:50～9:40

2. 規律について

学校の雰囲気は、全体的に活発で、生徒が主体となって創り上げる学校生活となります。しかし、何をやっても許されるということではありません。

学校は、「学ぶ場」です。生徒には、学習する主体としてふさわしい行動を自覚と自主性によって選択していくことが求められます。

他人の権利を侵害したり、学ぶ場としての学校のあり方に反する行為があった場合については、反省を求める指導が行われます。

特にいじめ・暴力は厳しく禁じられています。指導は、本人が自分を見つめなおすことができるよう、粘り強く、丁寧に行われます。

また、染髪、ピアス、バイク等の免許取得は認めません。アルバイトも原則禁止です。

3. 生徒会活動について

本校の生徒会は豊かな高校生活に資する「学力」「体力」「品性」「生活向上」および「文化・スポーツ要求」という5つの柱を軸に活動を展開しています。なかでも生徒会活動の基本となるHRでは討議を重視し、行事の準備や要求実現の運動が活発に行われています。

生徒会の年間活動は、1学期の生徒会オリエンテーション、代議員大会(生徒会の最高議決機関)、体育祭、2学期の二高祭(文化祭)、3学期の生徒会の総括を決定する代議員大会など様々です。

4. 部活動について

部活動は文化部と体育部があります。文化部では各部がそれぞれ設定したテーマのもと、学内のみならずフィールドワークも重ね研究を行っています。研究の成果は、その旺盛な行動力で学外においてもコンテストや大会などさまざまな形で発揮されます。体育部では科学的トレーニングと主体的な活動を通じて高校生アスリートとしての最高の舞台を目指します。

各部の部員数（2025年度3学期）が19ページにあります。

5. 相談室について

「ほっとすルーム KIDuki」という名称で、校内に相談室を備えています。臨床心理士・公認心理師3名が対応しています。生徒の悩みやお子様のことなどいろいろなご相談をお受けしています。悩みや不安など、自らの心の状態に気づき、向き合う力とともに、相談できる力を育む環境を整えています。月～土が開室日となっています（2026年度）。

6. 通学について

通学の距離制限は特に設けていません。高校生として通学可能な範囲であれば問題ありません。

東急東横線・目黒線、JR南武線、JR横須賀線・総武線・湘南新宿ラインに加え、東京メトロ南北線・副都心線、埼玉高速鉄道、都営地下鉄三田線、西武池袋線、東武東上線、みなとみらい線、東急新横浜線、相鉄線が各線への乗り入れによって武蔵小杉駅まで直通運転を実施していますので、広い範囲から通学が可能です。自転車通学は許可制となります。本校から半径5km圏内でかつ保険に加入していることが条件となります。

2026年度入試 総入学者の分布

神奈川県	横浜市	29.8%
	川崎市	16.9%
	その他県内	23.0%
東京都	23区内	13.9%
	都下	2.2%
千葉県		7.3%
埼玉県		5.1%
その他		1.7%

2026年度高校受験（書類選考と学科試験）

総入学者数に占める割合

※構成比を四捨五入しているため、合計が100%になっていません。

進路について

1. 法政大学への進学

法政二高から法政大学への進学は、有資格者全入制度を採用しています。法政二高が定める学力評価以外に、法政大学の指定する英語の外部試験（TOEIC Bridge[®]等）などを含め、高校時代の学業成績が一定の段階に達し、生活上の問題がない生徒は、法政大学への被推薦権が得られ、志望をいふまへ法政大学のいずれかの学部・学科に進学できます。

例年、95%以上の生徒が有資格者となり、約90%の生徒が法政大学へ進学します。

2. 多様な進路

法政大学は15学部を擁する総合大学です。生徒の多様な進路要求に応えることができます。

他大学受験は、国公立・私立ともに法政大学への被推薦権を保持したまま受験が可能です。法政大学への推薦の際、学部・学科については、第一志望になるとは限りません。

高校入試について

1. 2027年度生徒募集(予定)

※2027年度(現中3)募集の詳細については9月以降に配布される要項をご覧ください。

○募集人数 全日制課程・普通科

- (1) 書類選考によるもの
- (2) 学科試験によるもの

○応募資格

- (1) 書類選考：中学校卒業見込みで、本校を第一志望とする者
- (2) 学科試験：中学校を卒業見込みの者、あるいは中学校を卒業した者

2. 過去3年間の高校入試結果

		2024年度		2025年度		2026年度	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
書類選考	男子	160	160	158	158	156	156
	女子	154	154	161	161	157	157
学科試験	男子	589	135	570	130	646	146
	女子	360	130	382	139	375	174
総合計		1263	579	1271	588	1334	633

その他

1. 受験から入学とその後に要する費用の概算（2026年度・参考）

- 入学検定料 30,000 円、入学手続き金 350,000 円（入学金 300,000 円、入学時教育充実費 50,000 円）
- 学費（授業料・教育充実費(年額)・実験実習料）、預り金（新入生合宿費・修学旅行費等）高校 1 年生で（前期・後期で分納）975,550 円
- 〔その他購入するもの〕

制服・シャツ等	44,550 ～ 46,090 円
体操着・体育館シューズ等	24,200 ～ 26,200 円（柔道着除く）
教材・教具等	10,000 円程度
教科書・副教材等	30,000 円程度

※制服については、制服上下、シャツ/ブラウス、ネクタイ/リボンの概算です。
個人によりポロシャツ、セーター、コートなどが加わる場合があります。
男子は柔道着（4,600 円）が必要です（持っていない人のみ購入）。
- 上記とは別にタブレット端末（iPad(A16)）の購入費用として、およそ 120,000 円（保守保証費、通信費等を含む）が必要となり、前期に学費等と一緒に徴収いたします。ご購入後、高校卒業までの 3 年間、同一端末を使用いたします。2027 年度の詳細は別途、決定次第、ご案内させていただきます。

2. 高校 2 年生の修学旅行費用（2026 年度・参考）

- 沖縄(修学旅行先)：149,000 円（高校 1 年～2 年の積立合計）
※本費用は、預り金として徴収額に含まれています。

3. 奨学金制度について

■法政大学第二高等学校奨学生制度

勉学の意志と能力を持ちながら、家庭の経済的理由のために本校での修学が困難な生徒には、毎年 60 名を基準として所定の基準で選考し、授業料(年額)の 4 分の 1 を上限に免除します。返済の義務はありません。

■育友会奨学金制度

入学後、家庭の経済事情の変化にともない修学が困難になった生徒については、所定の基準で選考し、授業料の補助を行っています。補助額は月額 15,000 円です。返済の義務はありません。ただし上記「法政大学第二高等学校奨学生制度」との併用はできません。

■その他

本校独自の奨学金のほか、授業料を補助する「高等学校等就学支援金」（国の制度）や「神奈川県私立学校等生徒学費補助金」、「東京都私立学校等授業料軽減助成金」、授業料以外の教育費を軽減する「高校生等奨学給付金」があります。

また、「川崎市高等学校奨学金」や「横浜市高等学校奨学金」等の各自治体における奨学金制度もあります。金額や募集時期などはそれぞれ異なりますので、詳しくはお住まいの各自治体、または本校事務室学務担当までお問い合わせください。

4. 行事予定

二高祭（2026年度）

10月24日(土)

10月25日(日)

高等学校説明会（2026年度 予定）

帰国生対象 8月22日(土) 10:00～(予定)。

※「入学試験要項」の配布はありません。

学校公開 9月26日(土)

第1回 9月19日(土) 14:30～

第2回 10月10日(土) 14:30～

第3回 11月 7日(土) 14:30～

第4回 11月28日(土) 14:30～

会 場 本校 木月ホール

※詳細はホームページでご確認ください。

※ 学校説明会への参加には、ホームページ上での予約が必要です。

※ 申込方法の詳細は7月～8月に学校ホームページへ掲載予定です。

※ 自動車・自転車での来校はご遠慮ください。

※ 最新の説明会情報および予約関連事項等はホームページでご確認ください。

※ その他外部イベントでの説明会・個別相談会も実施する予定です。

詳細はホームページでお知らせします。

■部活動 部員数資料(参考)【2025 年度 3 学期段階】

区分	文/体	部・クラブ名	小 計						総合計
			中 学		小 高 校		中 高		
			男子	女子	男子	女子	男子	女子	
中学	文化部	中学科学部	24	11			24	11	35
	体育部	中学サッカー部	65				65		65
		中学野球部	33				33		33
高校	文化部	映画研究部			5	3	5	3	8
		英語部			0	21	0	21	21
		演劇部			4	10	4	10	14
		音楽部			25	38	25	38	63
		化学部			0	0	0	0	0
		数学研究部			12	23	12	23	35
		生物部			1	7	1	7	8
		地学部			1	3	1	3	4
		鉄道研究部			2	0	2	0	2
		文芸・日本古典研究部			0	32	0	32	32
	物理部			14	7	14	7	21	
	体育部	アメリカンフットボール部			55		55		55
		グランドホッケー部			34		34		34
		硬式野球部			74		74		74
		ゴルフ部			5	0	5	0	5
		サッカー部			155		155		155
		自転車競技部			2	0	2	0	2
		ソフトテニス部			17	40	17	40	57
		登山部			5	2	5	2	7
		軟式野球部			45	0	45	0	45
バドミントン部				12	16	12	16	28	
中高	文化部	カメラ部	3	4	4	26	7	30	37
		社会科学・歴史研究部	2	0	6	0	8	0	8
		囲碁将棋部	10	0	2	0	12	0	12
		吹奏楽部	4	48	16	69	20	117	137
		美術部	3	23	4	29	7	52	59
		茶華道部	0	1	0	5	0	6	6
		合唱部	1	4	2	4	3	8	11
		家庭科部	0	9	0	19	0	28	28
		放送部	3	10	1	19	4	29	33
	体育部	空手部	0	3	16	34	16	37	53
		剣道部	3	16	8	24	11	40	51
		柔道部	0	1	7	7	7	8	15
		重量挙げ部	0	0	7	0	7	0	7
		水泳競技部	1	0	19	15	20	15	35
		スキー競技部	1	1	9	9	10	10	20
		体操部	4		15		19		19
		卓球部	17		17		34		34
		テニス部	23	15	26	21	49	36	85
		男子バスケットボール部	54		69		123		123
		女子バスケットボール部		46		31		77	77
		男子バレーボール部	28		55		83		83
		女子バレーボール部		29		33		62	62
		ハンドボール部	28		31		59		59
		フェンシング部	11	5	23	41	34	46	80
		ラグビー部	7		38		45		45
		陸上競技部	32	32	90	52	122	84	206
		チアリーディング部		39		59		98	98

スキー競技部：中学は 2025 年度中 1 より募集停止、高校は 2028 年度高 1 より募集停止
 自転車競技部：2025 年度高 1 より募集停止 登山部：2025 年度高 1 より募集停止

国際交流

*詳しくは本校ホームページの「国際交流」を参照して下さい。
*今後、研修先等は変更の可能性もあります。

■短期海外研修

ニュージーランド研修

研修地：オークランド（北島）にあるオレワ・カレッジ（公立、共学）

期間：夏休み中（3週間） 参加人数：35名程度 対象：中学3年生、高校1～3年生

本校と姉妹校提携を結ぶオレワ・カレッジで、現地の家庭にホームステイしながら、学校に通います。現地の学校は、通常授業期間中なので、オレワ・カレッジの生徒たちと直接交流できる点が魅力です。また、ニュージーランドの自然を満喫できるプログラムも含まれております。

※希望制、定員を超えた場合は選抜。前年度に参加者を決定するため、中学3年生と高校1年生は内部生のみが対象。

マレーシア英語研修

研修地：SEGi College Penang（ペナン島）、クアラルンプール

期間：夏休み中（2週間） 参加人数：20名程度

対象：高校1～3年生

ペナン島でホームステイをしながら、現地の大学（SEGi College Penang）で、英語の授業を受け、様々な活動に参加します。クアラルンプールでは、現地の学生と共に1日観光（班別行動）を行うほか、キャリア教育としてマレーシアで働く日本人の講演を聞きます。

■長期留学

1. オレワ・カレッジ長期留学制度（高校生）〈年間：10ヶ月、1ターム：3ヶ月、3ターム：7ヶ月〉

本校から選抜された生徒が、本校の姉妹校であるニュージーランド、オレワ・カレッジ（公立、共学）に留学します。年間留学に関しては、留学にかかる費用の一部を学校が援助します。また、1ターム留学に関しては、オレワカレッジとの協定により、現地校での学費が無償になります。

2. 民間留学団体を通じた交換留学（高校生）

本校には一定の条件を満たせば留年せずに1年間留学することができる規定があり、交換留学を扱う民間団体のプログラムを利用して多くの生徒が留学しています。英語圏以外の国へ留学する生徒がおり、世界各地に留学が可能です。

3. その他

本校の留学制度や交換留学の他に、希望する国・学校に私費で3ヶ月～1年間留学することも、一定の条件を満たせば可能です。毎年4月に本校の留学制度や留学機関を紹介する留学説明会を、また2学期には長期留学を終えて帰国した生徒のプレゼン大会をそれぞれ開催します。また国際交流室では、留学に関する相談も受けることができ、留学を実現しやすい環境を整えています。

出発年度	留学先	合計
2023	アメリカ(8) カナダ(4) ニュージーランド(4) ベルギー(1) 南アフリカ(1)	18
2024	アメリカ(2) ドイツ(2) フィンランド(1) ベルギー(1) カナダ(2) 南アフリカ(1) ニュージーランド(4) オランダ(1)	14
2025	ノルウェー(1) アメリカ(2) カナダ(1) イタリア(2) オーストラリア(1) ニュージーランド(9)	16
2026 (予定)	アメリカ(1) カナダ(2) ニュージーランド(4) アイスランド(1)	8

オレワ：オレワカレッジ 他長期：その他の長期留学

よくある質問 Q & A

中学入試について

Q：1回目と2回目の両方を受験した場合の上乗せ点などありますか。

A：1回目と2回目の両方を受験した場合の上乗せ点などの優遇措置はありません。ただし、追加合格を出す際は両方受験している方が対象となります。

Q：中学入試の合格の目安は？

A：科目ごとの合格基準点はありません。4教科350点満点でどれだけ得点出来たか（総合点）で判定します。なお、合格基準点はその年の受験生全体の得点状況によって決まりますので、予め確定してはいませんが、毎年の傾向として、全体の65%程度が合格の目安と言えるでしょう。あくまでも例年の傾向からの参考ですが、入試の過去問題を解く際などの目安としてお考え下さい。

高校書類選考について

Q：内申基準を教えてください。

A：本校の書類選考は予め基準を定めているものではありません。12月中旬に中学校の先生から書類選考希望者名簿を提出していただき、打診をされた中で成績の良い方から順に並べ替えて、上から募集定員分になったところで初めてその年の基準が確定します。書類選考を希望の場合は必ず通っている中学校の先生に相談をしてください。

Q：書類選考の小論文はどのような内容ですか。

A：書類選考は12月の打診を通過した受験生のみ1月に正式な出願ができます。出願に際しては小論文と調査書の提出が必要になります。小論文の課題・内容は出願が完了してから提示されますので、この段階で発表することができません。小論文は条件にしたがって書き、期日までに提出することが重要です。

高校学科試験について

Q：高校学科試験の合格の目安は？

A：学科試験は英数国それぞれ100点満点で、科目ごとの合格基準点はありません。300点満点でどれだけ得点出来たか（総合点）で判定します。なお、合格基準点はその年の受験生全体の得点状況によって決まりますので、予め確定してはいませんが、毎年の傾向として、全体の65%程度が合格の目安と言えるでしょう。あくまでも例年の傾向からの参考ですが、入試の過去問題を解く際などの目安としてお考え下さい。

Q：学科試験では内申点は考慮されますか？また、英検や数検の資格は持っていた方が有利になりますか？

A：学科試験は当日の試験の得点結果だけで合否が決定します。内申書は参考程度にみえますが、その記載内容によって合否が左右されることはありません。英検や数検の資格についても同様です。その実力を学科試験に反映出来るよう、頑張ってください。

進路について

Q：法政大学以外の大学の受験は可能ですか？

A：法政大学への被推薦権を保持したままで、他大学を受験することが可能です。ただし、法政大学専願の生徒の志望学部が優先されます。

Q：他大学受験を希望する場合、そのための指導はしてもらえるのでしょうか？

A：本校は法政大学の付属校であり、多くの生徒が法政大学へ進学しています。

1・2年次では文系・理系にわけることなく、全ての生徒が全教科をまんべんなく学習しています。これは幅広い教養を身につけると同時に、自分の可能性をより広い視野で見出せるようにするためです。3年次になって初めて進路別のクラス分けが行われます。クラス編成において特別に他大学受験を意識したクラスはありません。

学校生活について

Q：昼食はどうしていますか？

A：昼食は、なるべくお弁当を持参して下さい。中高の時期は精神的・肉体的に最も発達する時期であり、栄養のバランスがとれたお弁当をお願いします。ただし中学生・高校生ともに学生食堂の利用は可能です。また売店においてパン・軽食の販売もしております。

Q：家から少し遠いのですが、通学できますか？

A：神奈川県・東京都以外の、千葉県・埼玉県などの地域からの通学も多く見られるようになりました。通学時間は1時間から1時間半が平均的だと言えます。ただし、学生寮はありません。

Q：自転車通学はできますか？

A：自宅から本校までの距離が半径5km以内であれば可能です。ただし保険に加入することが必要です。

Q：部活動を見学したいのですが可能ですか？

A：各部の顧問宛に直接電話連絡またはホームページのお問い合わせフォームからお申し込みください。顧問と日程調整の上、見学に来校してください。

Q：外部（学外）での活動（芸能・スポーツなど）は可能ですか？

A：可能です。ただし学業が優先となります。外部での活動を理由とした欠席日数や成績などの考慮は、原則として行いません。

※これらの「よくある質問」以外もホームページで紹介しております。ご確認ください。

アクセス

J R南武線

「武蔵小杉駅 西口」下車 徒歩 12 分

J R横須賀線（総武快速線・湘南新宿ライン・相鉄線直通）

「武蔵小杉駅 横須賀線口」下車 徒歩 15 分

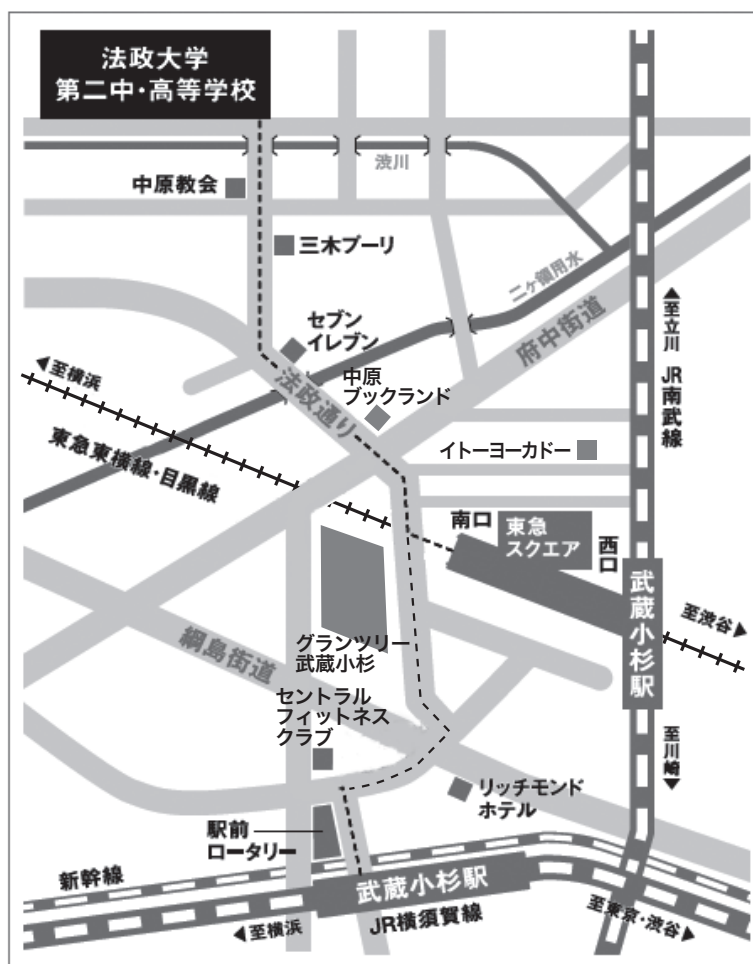
東急東横線

（みなとみらい線・東京メトロ副都心線・東武東上線・西武池袋線・東急新横浜線・相鉄線直通）

東急目黒線

（東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道・都営三田線・東急新横浜線・相鉄線直通）

「武蔵小杉駅 南口」下車 徒歩 10 分



お問い合わせ

法政大学第二中・高等学校

211-0031 川崎市中原区木月大町6-1

電話：044-711-4321

ホームページ：<https://www.hosei2.ed.jp/>

